



4-AR

船橋さざんかライオンズクラブ

会 長	L小川 俣子
幹 事	L小林 洋子
会 計	L豊岡 悦峰
	L籠谷 八代子
	L梁川 佐与小
	L高瀬 洋子
	L福島 眞知世
	L大西 智子
	L松澤 弥生
	L道嶋 ヒサ子
	L山田 登志子
	L大嶋 京

船橋シニアライオンズクラブ

会 長	L阿部 文男
幹 事	L田中 稔
会 計	L西尾 勇
	L古我 雄大
	L武藤 徳平
	L灘山 徳治
	L小沢 敏雄
	L樋口 久子
	L小嶋 廣次

船橋翼ライオンズクラブ

会 長	L太田 豊久
幹 事	L花澤 重人
会 計	L林 弘行
	L田中 善之

次年度会計予定者

L中村 浩一  
L矢野 憲一  
L山鹿 浩

第一副会長

L渡邊 弘彦

次年度幹事予定者

L松崎 総一

4-BR

鎌ヶ谷ライオンズクラブ

会 長	L一色 雅男
幹 事	L木曾 武男
次期幹事	L沢山 良一
次期会計	L永見 八紘
次期会長	L仁平 信夫
	L藤田 次男
	L山田 貢
	L伊藤 明郎
	L井田 靖子

船橋北ライオンズクラブ

会 長	L菊池 里志
幹 事	L根本 政良
会 計	L麻生 直人
	L大谷 昇
	L大谷 和生

白井ライオンズクラブ

会 長	L大杉 一男
幹 事	L山崎 明
会 計	L日色 進

船橋アートマンライオンズクラブ

会 長	L荒谷 晃行
第一副会長	L梨本 三千代
	L曾根 俊恵
	L鈴木 義明

鎌ヶ谷飛翔ライオンズクラブ

会 長	L石原 孝志
幹 事	L皆川 成己
会 計	L畦本 達也

白井あすなろライオンズクラブ

幹 事	L飛田 宏紀
-----	--------

習志野ライオンズクラブ

会 長	L長田 弘一
第一副会長	L秋山 幸一
	L伊藤 賢二
	L栗原 清彦
	L田久保 良作
	L向井 照光
	L新澤 真美
	L川尻 由弘
	L瀧本 和男
	L小川 勇一
	小川 光子 様

L小川 勇一 令夫人

八千代ライオンズクラブ

会 長	L渡邊 敏弘
幹 事	L横山 義幸
会 計	L有馬 淳

習志野中央ライオンズクラブ

会 長	L飯田 裕一
幹 事	L林 孝治

八千代東ライオンズクラブ

会 長	L鈴木 敏夫
-----	--------



5R

千葉ライオンズクラブ

第一副会長 L細川 義政  
理 事 L高橋 輝男

千葉花見川ライオンズクラブ

L林 悠

千葉ゆうきのライオンズクラブ

会 長 L橋爪 雅子  
幹 事 L岩本 朝子  
会 計 L石毛 直美  
L石橋 元子  
L橋本 文子  
L古谷 晴美

7R

銚子ライオンズクラブ

会 長 L島田 政典  
幹 事 L宮崎 保行  
会 計 L塚原 重晴  
第14代会長 L安藤 英夫  
第46代会長 L梶木 敏彦  
第37代会長 L泉 功  
前 会 長 L篠塚 和男  
第一副会長 L宮川 功一  
第二副会長 L山本 和則  
第43代会長 L長崎 正男

佐原ライオンズクラブ

会 長 L原田 隆司  
幹 事 L松本 賢治  
会 計 L佐藤 公彦  
接待親善委員長 L小林 利弘

銚子中央ライオンズクラブ

会 長 L植草 博信  
幹 事 L斉藤 真一  
会 計 L山本 勲  
前 会 長 L江畑 誠耕  
第一副会長 L飯島 孝夫  
L小原 松五郎  
L美呂津 篤  
L宮川 太三郎

ゲストの皆様

植村 力子 様  
杉山 民生 様  
船橋市議会議員 日色 健人 様  
元クラブ事務局員 作間 智津子 様  
故 L佐土 一正 令夫人 佐土 正江 様

船橋ライオンズクラブ

L池野 秀基  
L石橋 和雄  
L石橋 まゆみ  
L内山 敦子  
L内山 允晴  
L大貫 秀一  
L岡安 和義  
L河野 征司  
L木下 務

L木下 務 令夫人

木下 ミツ子  
L木全 純  
L木全 弘幸  
L木全 美佐子  
L久保 博  
L栗原 裕之

L小西 宗仁 令夫人

L小西 宗仁  
小西 幸子

L斎藤 貞雄 令夫人

L斎藤 貞雄  
斎藤 富子

L志村 光永 令夫人

L斎藤 真治  
L志村 光永  
志村 智子

L下川 政雄 令夫人

L下川 政雄  
下川 正子

L高橋 弘明 令夫人

L白幡 法子  
L鈴木 基久  
L砂村 理紗  
L高橋 周七  
L高橋 弘明  
高橋 千明

L高松 成一 令夫人

L高松 成一  
高松 廣子

L内藤 由 令夫人

L滝口 剛  
L外處 聖也  
L内藤 由  
内藤 裕世

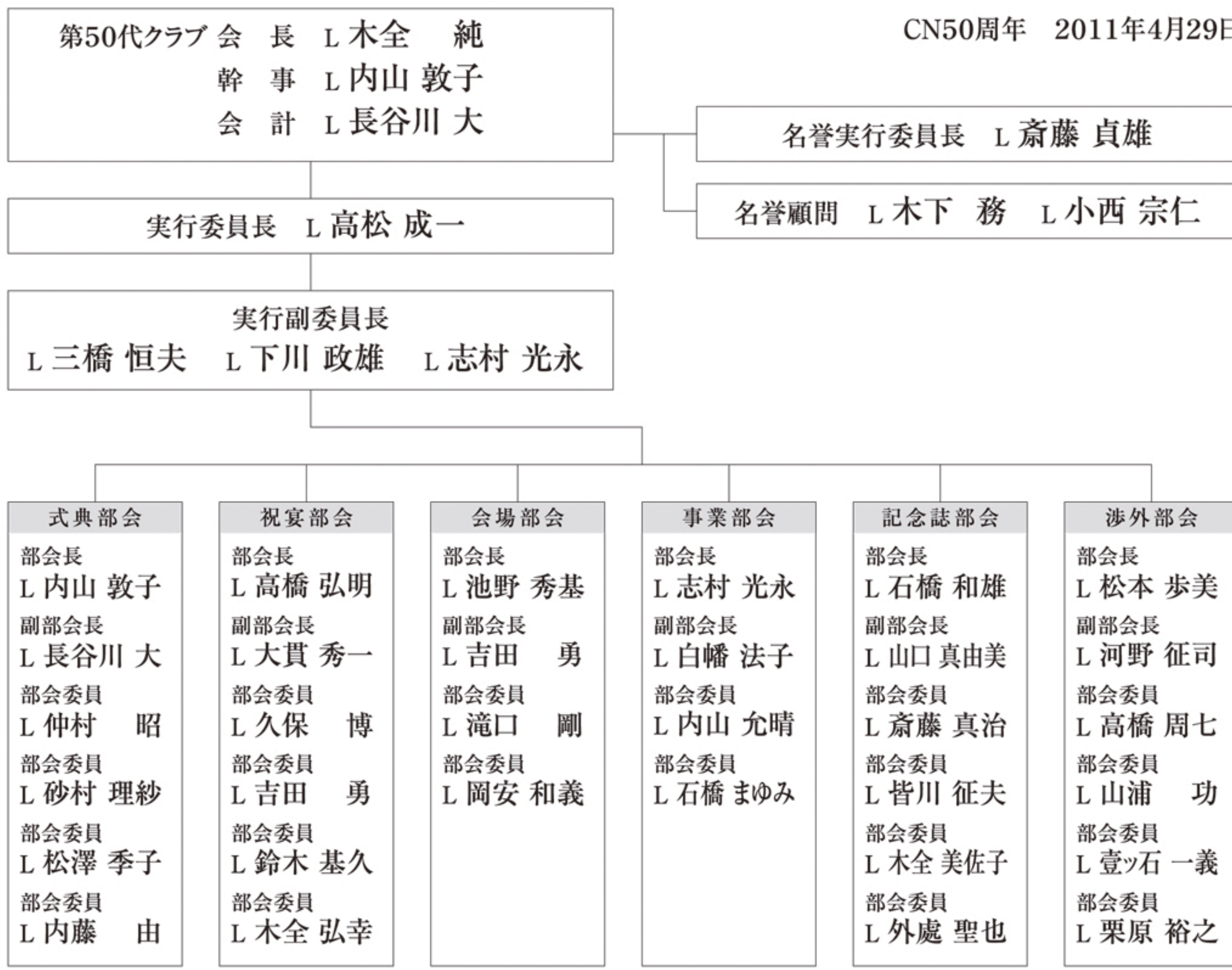
L三橋 恒夫 令夫人

L仲村 昭  
L長谷川 大  
L壹ッ石 一義  
L松澤 季子  
L松本 歩美  
L三橋 恒夫  
三橋 郁子

L皆川 征夫  
L山浦 功  
L山口 真由美  
L吉田 勇



CN50周年 2011年4月29日



『舞台花』 L 内山 敦子

あ と が き

私たち船橋ライオンズクラブは、1962年4月29日に東京浅草ライオンズクラブをスポンサークラブとしてチャーターナイトを迎えました。このたび50周年を無事迎えることが出来ましたことはスポンサークラブ並びに多くの皆様のご指導ご鞭撻の賜物と深く感謝申し上げます。CN50周年記念誌の発行に当たりましては、各位ご多忙中にも拘らずご祝辞をご寄稿賜りました、併せてご来賓の皆様を初め、多くの皆様に暖かきご理解とご尽力を頂いた事に厚く御礼申し上げます。

このCN50周年を節目として、さらなる発展に向かい奉仕活動に精進してまいります。

—— CN50周年記念誌部会 ——

## 「震災っ子の八十八年(ライオンズ五十年)の回想」

船橋ライオンズクラブ  
チャーターメンバー  
333-C地区 元地区ガバナー

L 斎藤 貞雄



大正十二年五月生まれ、その四ヶ月後の九月一日「関東大震災」が発生して死者十万人と共に東京が壊滅した。日本橋区の生家が焼けて皇居の広場に一家避難して助かった。あの時にもしも墨田川の方に逃げていたら、両国の被服廠の大惨事に巻き込まれて現在の私はいなかったかもしれない。母が生前よく「お前のオムツを宮城の広場の松にかけて干したんだんよ」と多少自慢気に言っていた。現在もある楠正成の銅像の近所だったらしい。母の判断と宮城の松に助けられたのだから、後に軍隊に入って恩返しに「天皇陛下の恩ために何で命が惜しかろう」と歌うようになった。

母の里に同年生まれの従兄弟がいて、叔父さんたちは君等は震災の年に生まれた震災っ子だと後年まで何かにつけて言われたものである。別に自分で選んで震災の年に生まれたわけではないし、たまたま偶然にそうなのである。震災生まれが別に偉いわけでもなく優れた素質があるわけでもないのに、震災っ子震災っ子と周囲に言われているとそのうちになんとかやはり特別な運命天性が与えられたのかなと心の隅に思うようになったのが不思議である。大正十二年生まれは猪年、直情径行短気で喧嘩ばやいが直ぐ思い直して仲直りも早い。勿論全員ではないが同年齢の友人を見ているとそんな人たちが多かったようだ。最も今や従兄弟や同級生たちも大多数がいなくなって今年八十八歳の米寿にたどり着いた人間は極めて少ないのが事実である。

大正生まれといっても三年経って昭和だからほとんど昭和の時代を生き抜いたといっている。昭和の初期の世界大不況の貧困時代を子供ながら両親の生活の苦しさが身に沁みた。それが日本が大陸進攻の原因であることに間違いはない。満州事変が小学生時代、盧溝橋事変が中学一年で大東亜戦争が始まったのが、歯科医専の一年生、軍事教練と配給の雑炊の飢えの中で半年繰り上げ卒業、直ぐ赤紙の召集令状がきて山梨の甲府連隊に入営、陸軍歩兵一等兵で三ヶ月聯兵場の砂の上を這いまわったが、入営前に受験しておいた海軍軍医学校の試験の合格が発表、広島県呉の近郊の加茂海軍衛生学校に転科入学、海軍歯科軍医見習医官に任命、陸軍海軍の両方の珍しい体験をしたうえ、八月六日の広島原子爆弾投下の夕方救援隊として広島に入り、三泊間あの惨状を体験、教官には貴様たちにはもう子供はできないかもしれないよと脅かされたが終戦で何とか無事帰宅。総武線で江戸川鉄橋の上から見えた国府台の緑の並木の稜線に思わず故郷に還れた嬉しさが涙となったのが忘れられない。

戦後の復興までの数年は戦争中よりも食料物資の欠乏が厳しかったが平和と自由のありがたさが希望となって大きな勇気を与えてくれた。親父もまだ元気だったから 後に船橋ライオンズクラブに一員となった小学校中学校の同級生勿論震災っ子の中村悟Lと一緒に失われてきた青春時代を取り返そうと野球やダンスやモーターバイクの仲間が集まって楽しい戦後の暮らしが戻ってきた。然し当時生きて復員してきた喜びに夢中になっていたばかりに、その陰で占領地に取り残されて戦争犯罪人として無実の罪に法廷に死刑を宣告され絞首刑になっていた何百か何千かの仲間、その中には勿論震災っ子も多数いたのに自分たちだけが無事復員して家庭に戻れた嬉しさにかれらのために何の救助運動をしなかったことに、今となってはただただ申し訳なく慙愧に耐えないものがある。